

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

協議会名: 武豊町地域公共交通会議

平成27年1月16日

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載	
知多乗合(株)	コミュニティバス 基幹線 右廻り(緑)	平成25年度も対前年比で利用者数が増加し、目標値を上回り、主な課題が見られなかったため、事業内容は原則踏襲することとした。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	B	1年間の利用者数による目標値6,200人以上に対して、6,717人の実績があり、目標値を上回った。ただし、赤・青ルートの利用者数と比べ利用が少なく、極端に利用の少ない停留所が存在する。	地元協議を行い、赤ルートと重複し利用の少ない停留所等が存在することから、赤ルートと統合する事業変更を行う。
知多乗合(株)	コミュニティバス 基幹線 左廻り(緑)	同上	A	同上	B	1年間の利用者数による目標値4,450人以上に対して、5,405人の実績があり、目標値を上回った。ただし、赤・青ルートの利用者数と比べ利用が少なく、極端に利用の少ない停留所が存在する。	同上
知多乗合(株)	コミュニティバス 北部線(赤)	同上	A	同上	A	1年間の利用者数による目標値14,850人以上に対して、15,461人の実績があり、目標値を上回った。事業開始以降順調に増加しており、住民が集うサロンでのPRなど、これまでの利用促進対策の効果が認められる。	地元協議を行い、緑ルートとの事業統合を行う。また、隣接する半田市の大型商業施設への乗り入れを行い、さらなる利用者増を目指す。
知多乗合(株)	コミュニティバス 南部線(青)	同上	A	同上	A	1年間の利用者数による目標値7,100人以上に対して、8,167人の実績があり、目標値を上回った。24年度にいったん利用者数が減少したが、それ以降順調に増加しており、利用促進対策の効果が認められる。	地元協議を行い、利用の少ないバス停留所を移設し、ルート変更を行うことで、さらなる利用者増を目指す。

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。